

かわまた隆の活動報告

もっと咲け桜川市と市民自治

2026年2月 第21号



今号は、新年度の予算案や、国の政策に伴う市民の皆さんへの商品券の配布、そして、岩瀬の方々には、とくに、関心を寄せていただきたい岩瀬認定こども園と、岩瀬東部認定こども園の統合移転案について報告します。強く意見を出さないと、知らず知らずのうちに住みづらい街になってしまいます。

岩瀬の街中は空っぽになる・・・こども園の移転先は大和駅北側です

岩瀬こども園、岩瀬東部こども園の統合移転先は、社会福祉協議会（会長：大塚市長）の理事会、2月10日の評議員会で、大和駅北側、地域医療センターの西側用地に決まり、桜川市との協議が始まります。

<統合移転計画の内容>

双方とも耐用年数を過ぎ老朽化していること、こどもの大幅な減少をふまえ、柔軟性の高い園児の受け入れ施設にすることで経営の安定を図ることなど、が統合移転の理由です。児童発達支援事業「こどもサポートさくらんぼ」を含め、施設の定員155人で令和10年度の開園を目指しています。

<なぜ、大和駅北側なのでしょう。移転候補地は浸水区域ばかり？>

旧岩瀬町の幼児が、なぜ、大和駅まで行くの？というのが率直な疑問ですね。移転の候補地と考えられる現岩瀬こども園、岩瀬庁舎などは、桜川の浸水想定区域内であり、不適切だとしています。茨城県作成の浸水想定図によれば、「生涯学習センター・さくらす」は0.5～3mの浸水区域のようです。桜川を挟んで南側の岩瀬庁舎も駐車場部分は「さくらす」と同じ高さですが、南側の庁舎建物は、約3mほど高くなり道路と接しています。つまり、浸水するか、浸水しても0.5m以下であり、土盛りするか、建物構造によって浸水は防止できます。現在の南側庁舎もかさ上げしています。なお、北側庁舎は、過去に半地下部分が浸水被害にあったと聞いています。

岩瀬南庁舎は、令和10年春頃には、大和庁舎敷地での新庁舎の完成により解体撤去が可能です。なぜ、岩瀬庁舎跡地を統合移転候補地にしないのでしょうか？

<街中、中心部のメリットは沢山ありますが>

大和駅北側に移転したときには、送迎バスを考えているようですが、予定の園児155人のうち、0歳～3歳児が85人です。この園児は保護者による送迎となり市境に近い大和駅までの送迎となります。また、将来のデイサービスや子育て支援事業、さらには父母への乳幼児講座など、妊娠から

就学前までの様々な支援事業を受けるには、街中の中心部が便利で、集まりやすいなどのメリットが沢山あります。

そして、何よりも、岩瀬の街中には、「さくらす」、福祉センターを除き、何もなくなってよいのでしょうか。県西総合病院がなくなり、飲食店など街は寂しくなりました。真壁の議員さんは、岩瀬の人たちが、桜川医療センターの大和駅北側での建設に反対しないことに不思議がっていました。また、同じことを繰り返すのでしょうか。

<市民の皆さんの意見が大切です>

保護者の方には、決まってから説明会等で理解を得るとしてあります。進め方が反対です。どうしても、大和駅北側に移転させたいのです。40億円投じて病院とわずかな住宅を除いて何もありません。大和地区の小中学校、坂戸小もそのうち、大和駅北側が候補地になるでしょう。「民間事業者の進出は望めない、市の施設で埋める」という魂胆がはっきりしています。「さくらす」を浸水区域内につくりながら、わずかにかさ上げすれば浸水を防げる岩瀬庁舎南側は不適切にしたいという思惑は、誰にでもわかってしまう幼稚なシナリオです。岩瀬の方々を決めたことには黙って従うと見られています。そうなののでしょうか？はっきりと意見を言うべきだと思います。

物価高騰対策の市民生活支援・・・急ぐべきと考えますが？

昨年末に国の物価高騰対策の2兆円の地方交付金が決まり、この1月から県市で補正予算が組まれています。桜川市は2月18日の臨時会で補正予算が決まり、5月頃から地域応援チケットが配布されます。一人当たり、商品券1万円、食事券2000円です。その他、学校給食の無償化や食材購入にも国の交付金が当てられます。

<対応が遅いと質問しましたが>

1月の「活動報告20号」の配布後に、市民の方から、筑西、笠間市の商品券配布の報道があったが、桜川市はどうなっているのか、との電話がありました。補正予算が必要ですので、その旨を財政課に電話しました。筑西、笠間市は1月21日発表で、市議会の臨時会です。桜川市は2月18日の臨時会です。なぜ、1か月も遅くなるのか、と質問しました。副市長の答弁は、ア) 市民から遅いなどと聞いていない。イ) 選挙があった。というものです。背後から議員の方のヤジが聞こえました。ウ) 速さを競争している訳ではない。ウ) 商品券の金額が一番多い。というものです。

東京都区部(23区)は2月から配布(他の区に遅れたくない)、大洗町も2月4日から配布です。私は、ふるさと納税のように自治体間の競争を煽ることは大反対ですが、結果として競争しているのです。妊婦さんのいる家族は、産科病院のあるところに、家庭菜園が欲しい人は土地の安いところを探しているのです。前にも書きましたが、「足による投票」で住むところを選択し、住む市町村を選んでいくのです。

また、この交付金について国は、人口・物価高騰率・財政力などを指標に配分しています。

市民一人当たりで計算すると、富裕団体であるつくば市は約6千円ですが、笠間市は約1万円、桜川市は約1.3万円です。財政力の貧しい桜川市には配分額が多く、商品券も多くなって当然なのです。なお、つくば市、笠間市などは、福祉施設、病院、農業(肥料、飼料)など、幅広く物価対策を支援しています。

<市民が黙っていると「役所仕事」は改善されません>

市議会臨時会の開催は大塚市長の権限です。臨時会を開かなければ、補正予算は審議・成立できません。市民への配布の仕事も開始できません。桜川市は、概ね、何でも遅いのです。

HPでの常任委員会会議録は昨年6月定例会までしか公開していません。本会議議事録も次の定例会までかかり、3か月遅れです。他の都市は1か月程度で公開されます。「お役所仕事」の典型ですが、「市民の方が発言しない限り変わらない」というのが、議員4年目の実感です。「遅くて当然、決めた後でも市民は納得する」という、昭和の時代の「お役所仕事」が健在なのです。

令和8年度当初予算案について

令和8年度当初予算が2月18日に内示されました。詳細は3月4日からの予算案説明を受け、審議の後に「活動報告」で報告します。とりあえずは、関心のある分野に限りの速報です。一般会計の総額は、223億8千万円（前年度比0.2%の増）です。新庁舎建設費16億27百万円が計上され、10年春頃の完成です。

<今まで質問等をした事業が中心ですが>

(1) 窓口のDX化 (2,400万円)・・・書かない窓口となることで、手続きの簡素化、待ち時間の短縮になるということです。

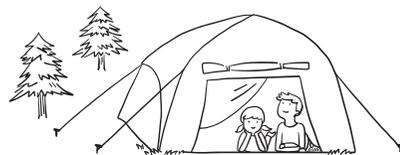
(2) 高齢者補聴器購入助成 (90万円)・・・一人3万円まで、1回限りの補助です。

(3) 病院事業 (桜川医療センター) への支援 (4億1,930万円)・・・国 (総務省) も不採算地域について支援を強化していますが、当センターも医療機器の更新、小児科医の確保など、正念場のようなようです。



(4) タクシー運賃助成 (4,000万円)・・・60枚から80枚 (4万円) へ増額ですが、1回の乗車は5千円 (10枚) が上限です。なお、80枚以上の利用には自己負担分の導入が検討されるべきでしょう。また、夜間利用など運転手確保のために、事業者支援が必要となっています。

(5) 筑波高原キャンプ場の再整備工事 (6,000万円)・・・完成後は、筑波山、加波山、雨引山、雨巻山、高峰山などの桜川市の背骨をなす里山の登山道・遊歩道の整備が急がれています。

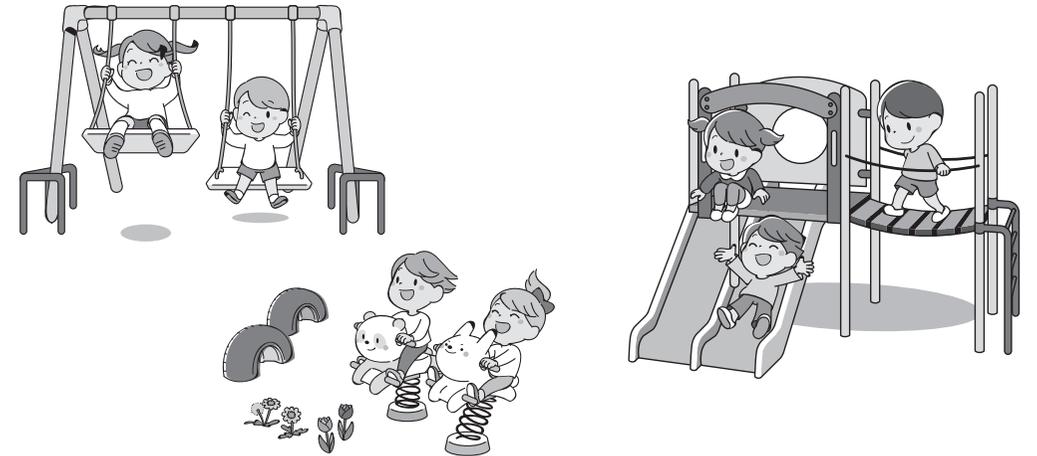


(6) 特別教室や体育館の空調設備工事費 (6,834万円)・・・8年度、9年度と順次、整備される予定です。

(7) 「さくらす」の指定管理料 (1億5,000万円)・・・国 (総務省) は、指定管理料の増加率を指標にして、普通交付税の算定をしていますが、桜川市は聞く耳を持ちません。物価上昇、公務員の給与アップがあっても、債務負担行為として一度、決めたものは改定しない方針。いつから、国の方針を無視して労働者を酷使する尊大な (偉い) 自治体になったのでしょうか。

(8) 水道・有収率向上対策事業 (3,921万円)・・・漏水調査、AIによる管路診断などで有収率の向上 (漏水率の引下げ) を目指しています。県下で最も漏水の多い水道という汚名は返上したいものです。

(9) 大和駅北側開発事業 (7,290万円)・・・公園整備事業です。大型遊具は真壁や岩瀬の街中であってこそ集客に繋がるとの声が聴かれます。長方地区の商業開発 (ベシアの出店) についての県への大型店の届出は、昨年9月の議会で今年1月までに行うとの約束でしたが、届出はありません。市長選挙前のアドバルーンだったのでしょうか。



(10) 地域商社支援事業 (2,561万円)・・・約500万円の増額です。市民生活への貢献はあるのでしょうか。

(11) 「道の駅」設置調査 (0円)・・・昨年9月の補正予算の「道の駅設置可能性調査 (613万円)」は継続しないのでしょうか。市長の夢 (昨年9月議会での発言) だったのでしょうか。これも選挙前のアドバルーンかな。本気ならば、本格的な需要調査 (入れ込み客数、売上高見込み) が不可欠ですが。

詳細はHPをご覧ください

*引き続き、桜川市の課題や議会活動を報告します。ご意見や市政の調査要望など、ご連絡ください。

〒309-1231 桜川市本木1448 川股 隆
E-mail : kawamatat@nifty.com
電話 : 0296-58-7034
H P : kawamata-takashi.sakuraweb.com



かわまた隆
公式サイト



※このチラシは再生紙を使用しています